



羽黒小学校ブナ植樹活動 に参加しました

～ 庄内森林管理署 ～

開催日：令和8年6月27日

開催場所：鶴岡市羽黒部内



鶴岡市立羽黒小学校では、児童たちが地域の豊かな自然を守り次世代に伝えていくこと、また、自然環境を守るという心情を育んでもらうことを目的に、地域の活動推進員の方々や保護者の協力を得ながら「ブナの植樹活動」を27年間継続して行っています。

庄内森林管理署でもこの学校の趣旨を踏まえ、「遊々の森（わくわくの森）」として国有林野のフィールドを提供しており、活動に参加するなど、微力ながらお手伝いをしています。

本日は、昨年9月に「遊々の森」で採取したブナの稚樹を、今日まで大事に育ててきた5年生33名が植樹を体験します。

安全に、また作業がしやすいようにと、地域の方々が事前に下刈作業を行っており、現地はきれいに整備されていました。

活動推進員の職員から、作業の説明や手順の指導を受け、児童達に付添いながら作業開始です。

朝から降り続いていた雨も上がり、植樹したブナの苗は生き生きしているように感じました。児童たちは自分が植えたブナの苗に、「元気に大きく育ちますように！！」と願いを込めたプレートを、苗に掲げていました。



ブナの植付を行う児童たち



無事に植樹が終わりました

児童達が大人になった時にまたこの土地を訪れ、自分の子供たちと一緒に森林を育てている。そういう姿が目に見えます。

庄内森林管理署では、児童たちが森林に触れ、学べる機会をこれからも支援してまいります。